

停電になったら...(自立運転への移行)

※停電になれば自動的に自立運転に移行するため、お客様の操作は必要ありません。

■ 連系運転から自立運転移行時の表示の様子

モニタユニットの表示部

停電を検出した直後

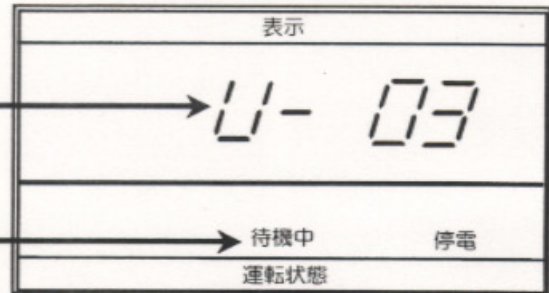
● 停電の検出

- ・ 商用電源(電力会社)の停電を検出すると、原因を問わず機能コードが約5秒間表示されます

※機能コードについてはP 28をご覧ください。

- ・ 「待機中」と「停電」が表示されます

※ 自立運転へ移行するためにパワーコンディショナは約1分20秒間待機します。

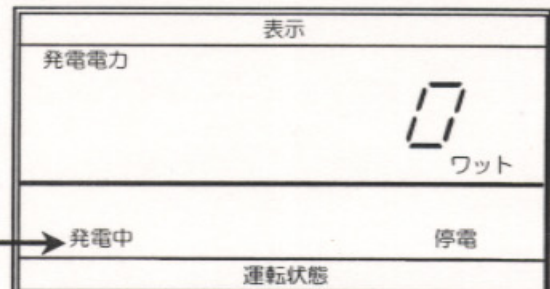


約15秒後

自立運転用コンセントが使用可能な状態

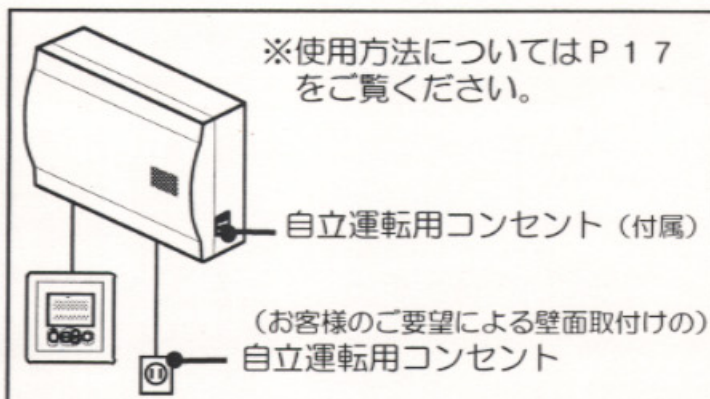
● 自立運転の開始

- ・ 日射がある場合に、自立運転用コンセントが使用可能になったことを示す「発電中」と「停電」が表示されます



自立運転用コンセントの負荷機器を使用していれば

自立運転用コンセントの負荷機器使用中 (ワット数は表示例)



自立運転用コンセントから898Wの容量の負荷機器を使用していることを示しています

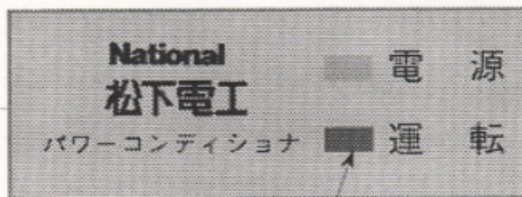
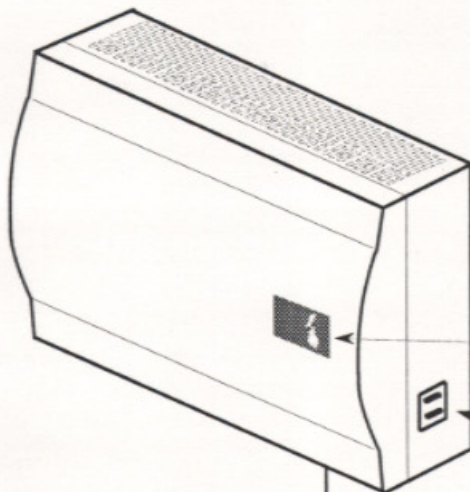
自立運転用コンセントの使用方法

■ 停電時、日射量に応じて、発電した電気を使えます(自立運転)

- 自立運転用コンセントに負荷機器の電源プラグを差し込んで、ご使用ください。
 - ・ パワーコンディショナが待機中(発電していないとき)または連系運転中(商用電源があるとき)は出力しません。
 - ・ 停電回復後は出力しません。

■ お願い

- ・ 商用電源と接続しないでください。(故障の原因となります)
- ・ 医療機器・情報機器等、途中で電源が切れると生命・財産等損害を受けるおそれのあるものはつながないでください。
- ・ 暖房機器・調理機器等、急に電源が入ると生命・財産等損害を受けるおそれのあるものはつながないでください。
- ・ 並列運転時には各コンセントを直接接続しないでください。(故障の原因となります)



自立運転中は点滅します

自立運転用コンセント および 自立運転用コンセント (付属)

- ・ 停電になれば自動的に出力します。
- ・ 出力電圧は交流100Vです。
- ・ 自立運転時に使用できるのは最大1500Wですが、発電電力は日射量に左右されるため1500Wまで使用できない場合があります。(下記のご注意をご覧ください)

※お客様のご要望による取付けです。

表 自立運転用コンセント使用区分

商用電源の有無(天候)、負荷条件	モニタユニットの表示	自立運転用コンセントの使用可否
自立運転中(昼間)	「発電中」、「停電」	○
自立運転中(昼間)、容量オーバー時	「待機中」、「停電」、「P-01」又は「P-04」又は「P-06」	×
連系運転中(昼間)	「発電中」	×
待機中(夜間、雨天)	「待機中」	×
停電中(夜間、雨天)	※表示なし	×

自立運転用コンセント使用上のご注意

- 自立運転用コンセントを使用できる負荷機器の容量は日射量によって異なります。
- 容量オーバーの場合は、パワーコンディショナは自動的に「待機中」に移行します。あわせてシステムの状態をあらわす機能コード(「P-01」・「P-04」・「P-06」のいずれか)をモニタユニットに表示します。
 {→これらの機能コードが出た場合は、負荷機器の使用容量を減らしてください。ただし、容量を減らしても直後には機能コードは消えません。} さらに、待機に移行後1分経てば自動的に自立運転を再開します。容量オーバーしていなければ機能コード(「P-01」・「P-04」・「P-06」のいずれか)は消え、自立運転を継続します。

※機能コードについてはP28をご覧ください。

停電が回復すると...(連系運転の再開)

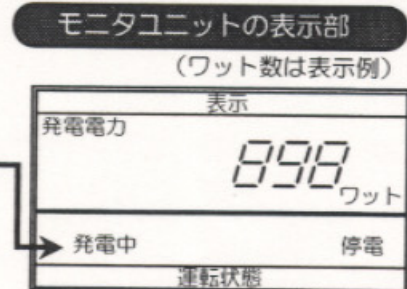
※停電が回復すれば自動的に連系運転に戻るため、お客様の操作は必要ありません。

■ 自立運転から連系運転移行時の表示の様子

● 自立運転中

- ・「発電中」と「停電」を表示

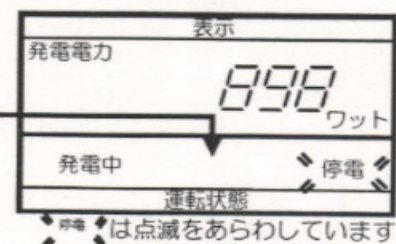
※表示ワット数は自立運転用コンセント
使用中の負荷機器容量です。



● 停電回復への準備

- ・「発電中」と「停電」を表示

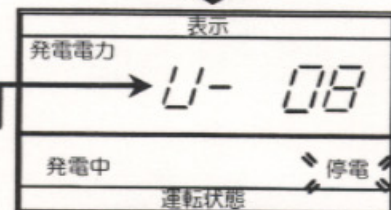
※「停電」が点滅すると、自立運転用コンセントはまもなく使用できなくなります。



約2分30秒～
5分後

- ・停電の回復を確認したことをあらわす機能コードを約5秒間表示
- ・「発電中」と「停電」を表示

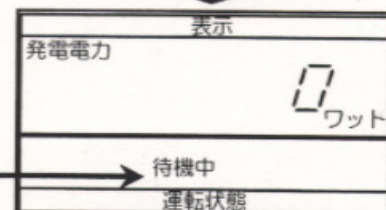
※機能コードについてはP28をご覧ください。



まもなく

- ・「待機中」を表示

※「待機中」が点灯すると、自立運転用コンセントは使用できません。(出力停止します)



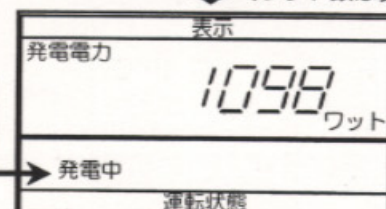
約15秒後

(ワット数は表示例)

● 連系運転の再開

- ・「発電中」を表示

※表示ワット数は現在の発電電力です。



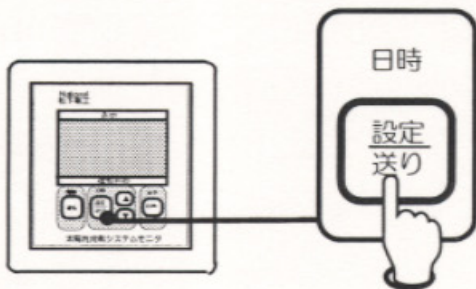
日付・時計の合わせかた

※ 発電電力量データ（本日分積算・月別積算・積算トータル）は設定された日付・時計をもとに計算するため、期間中に日付・時計を変更するとデータを正しく表示できません。

① 日付・時計設定のモードに入るには、「設定送り」を2秒以上押し続けます

※ 本モードの画面は最初、「年」の数値が点滅しています。（→日付・時計設定のモードになったことをあらわしています）

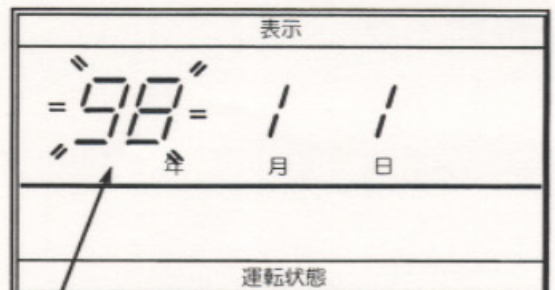
※ なお、「設定送り」を押す時間が2秒未満ですと、自動的に「設定送り」を押す前の表示に戻ります。



モニタユニットの表示部

※年、月、日の数値は全て表示例です。

画面①：
日付・時計設定のモード

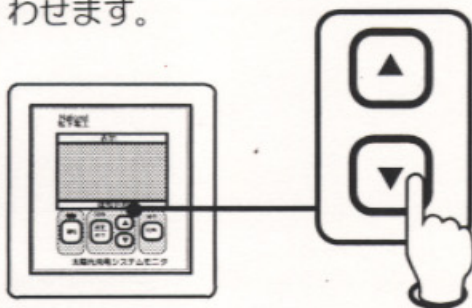


年は西暦の下2けたをあらわしています

98は点滅をあらわしています。

② 「年」を合わせます

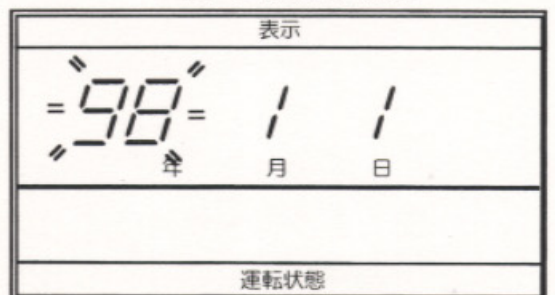
● 「▲」・「▼」で数値を増・減して「年」を合わせます。



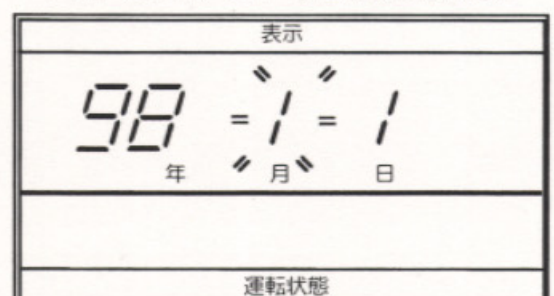
● 「設定送り」を押して、「年」の数値を設定します。



「年」を設定する前



「年」を1998年に設定した後



日付・時計の合わせかた

モニタユニットの表示部

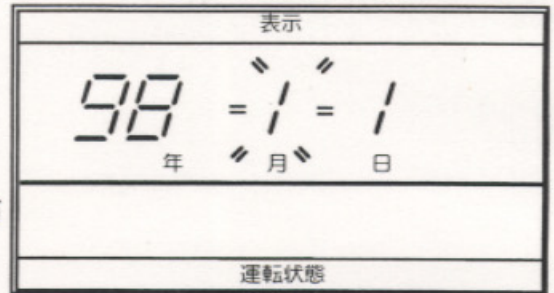
※年、月、日、時、分の数値は全て表示例です。

③ 同様に、「月」・「日」を合わせます

※ P 2 1 ②において「設定送り」を押すことにより、「月」の数値が点滅する画面になります。

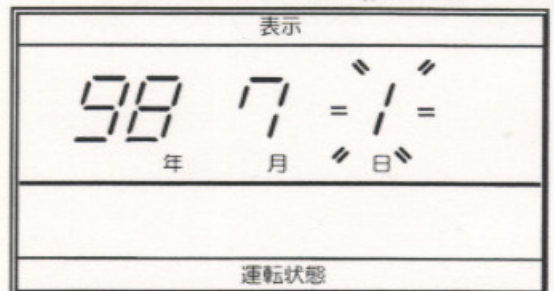
- ここでP 2 1 ②の操作と同様に「月」の数値を合わせた後、設定してください。
- さらに同じ要領で「日」を設定してください。

「月」を設定する前



98は点滅をあらわしています。

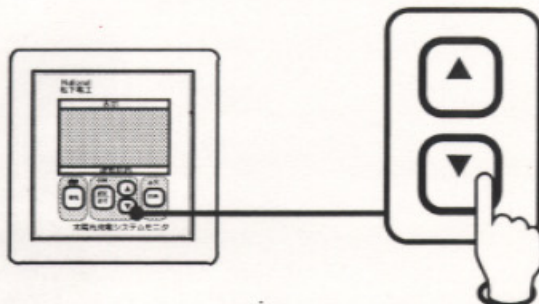
「月」を7月に設定した後



④ 「時」を合わせます

※ ③において「日」の点滅中に「設定送り」を押すことにより、「時」の数値が点滅する画面になります。

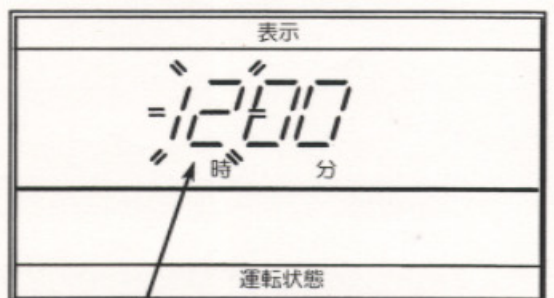
- 「▲」・「▼」で数値を増・減して「時」を合わせます。



- 「設定送り」を押して、「時」の数値を設定します。



「時」を設定する前



時間は24時間表示です

日付・時計の合わせかた

⑤ 「分」を合わせます

- 「分」の数値が点滅しているときに、「▲」・「▼」で数値を増・減して「分」を合わせます。「分」の設定に、「設定送り」を押す必要はありません。

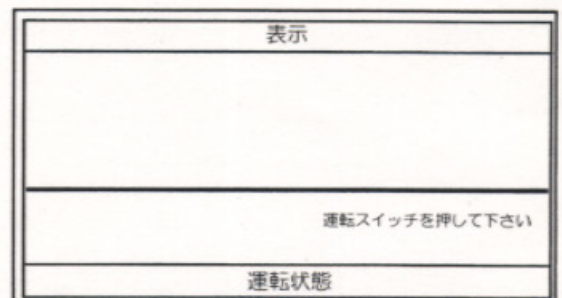
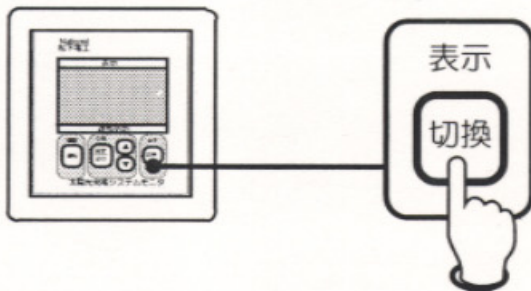
※ 「設定送り」スイッチを押した場合は、画面①（P 2 1）に戻ります。

モニタユニットの表示部

⑥ 「表示切換」を押して確定します

※ P 2 1 ①～P 2 3 ⑤で設定した年、月、日、時、分の数値を全て確定し、日付・時計設定のモードを抜け出ます。

画面⑥：
「表示切換」を押して日付・時計を全て確定した後



表示例（停止中に設定した場合）

● 以上で日付・時計を合わせることができました

備考

- 日付・時計設定モードは「表示切換」を押すことで、P 2 1 ①～P 2 3 ⑤のいずれの時点でも他の表示へ抜け出ることができます。（但し、その時点で表示されていた日付・時計の値が点滅・点灯にかかわらず確定されます）
- また、P 2 1 ①～P 2 3 ⑤のいずれの時点から抜け出た場合でも、モニタユニットの表示は画面P 2 3 ⑥になります。
- 日付・時計設定モードへは、モニタユニットに「異常」の表示が出ていなければ、いつでも移行（P 2 1 ①の操作）することができます。
- 本システムの特長として、停電かつ夜間のような全く電源がない状態においても、内蔵バッテリーにより15時間程度は日付・時計の設定を記憶しています。